

舞鶴医療センター附属看護学校

まいづる☆かん GO!!

第12号 発行日：平成25年3月27日

〒625-8502

京都府舞鶴市宇行永 2410 番地

TEL: (0773) 63 - 4338 Fax: (0773) 63 - 3014

アドレス kyokan-d@maizuru-mc.jp



お久しぶりです。少しずつではありますが、日に日に暖かさもまし、春を感じる今日。今月は黄砂や花粉がひどく、咳やくしゃみといった症状に悩まされる方も多かったのではないのでしょうか。まだまだ続きそうなので、マスクの着用やうがい手洗いをこまめに行ってくださいね。卒業シーズンの到来です。当校でも41名が旅立って行きました。第12号では各学年の振り返りや予餞会、卒業式など掲載しています。



☆ 1年生・・・基礎看護学実習Ⅰを終えて ☆

～ 初めての实習 ～

基礎看護実習Ⅰの目標は“対象を知る”というものでした。1年生は、始めて臨床の場に行き、実際に患者さまと関わることで、対象を理解するということを学び、同時にニードを見つけることもできました。また、ニードはひとつだけではなく、他のニードも関連していることを学びました。

予習をしても、患者さまの前に立つと頭が真っ白になりましたが、指導者さんや看護師さん、先生に支えていただき、援助を実施することができました。臨床で働いておられる看護師さんを見て、改めて先輩のすごさを実感しました。今まで曖昧だった看護師像が少し具体化したように思います。2年生になっても今回学んだことを生かして勉強や実習を頑張っていきたいです。お世話になった患者さま、ご家族の方、病院の方々本当にありがとうございました。



☆ 2年生・・・基礎看護学実習Ⅱ・成人看護学実習を終えて ☆

～ 改めて気付いた看護の力 ～

基礎看護学実習Ⅱでは、対象を理解するために、病気からくる症状、治療や検査が対象の日常生活に与える影響についてアセスメントし、その対象にあった日常生活行動に働きかける援助を学習しました。

成人看護学実習では、今までの実習で学んだことをいかし、成人期という発達段階と、回復期・慢性期という経過を踏まえ、患者さまを理解し、患者さまに必要な援助を個別性に合わせて考え、実施しました。

実際に援助を行っていく中で、私たちの関わり方、声掛け、ひとつひとつの行動の大切さを改めて考えることができました。毎日、どうしたら患者さまにとってよい援助となるのだろうかと考え、友達や先生、指導者さんに相談しながら、とても学びの深い12日間でした。患者さまやご家族の方、病院の方に本当に感謝します。



☆予餞会☆

～ ありがとう！先輩！！ ～

今までお世話になった3年生の皆さんに、1・2年生が主となって予餞会を行いました。歌やダンス、モノマネで3年生に感謝の気持ちを伝えました。最高学年としていつも私たちの手本として頑張ってくれた先輩方、これからも私たちがその精神を受け継ぎ、後輩へ伝えていきます。3年間、本当にお疲れ様でした。そして、ありがとうございました！！



☆ 3年生・・・国家試験～卒業式 ☆

～ 卒業、新たな旅立ち ～

今年も2月17日(日)に第102回看護師国家試験を受験しました。前日から緊張しっぱなしでしたが、仲間と励ましあいながら、当日を迎えました。周りの受験者みんなが自分より賢そうに見えて、不安と緊張に押しつぶされそうになりましたが、先生や仲間との「絶対にみんなで合格する！」という約束を思い出し、なんとか乗り切ることができました。

そして3月6日には第63回卒業式が行われました。式を通して3年間の思い出が走馬灯のようによみがえり、苦しくも楽しかった3年間、先生方や仲間たち、実習でお世話になった患者さまや指導者さんに支えられ、この日を迎えることができたこと、感謝の気持ちでいっぱいでした。3年間のたくさんの思い出を胸に刻んで、私たちはそれぞれの新しい門出を迎えます！！さあみんな、これからが本当のスタートだ！



☆特別講義☆

～ 舞鶴医療センターのこれからの医療 ～

3月8日、当院、吉岡先生を始めとする先生方から「舞鶴医療センターのこれからの医療」をテーマにした講演がありました。今回は予防を観点に、栄養科の平野先生からは塩分制限を中心にした食事管理のお話をいただきました。リハビリテーション科の町野先生からは運動療法を中心に有酸素運動の効果についてのお話をいただきました。神経内科の結城先生からは睡眠時無呼吸症候群と脳卒中の関連についてのお話をいただきました。そして神経内科の吉岡先生からは、脈管外来について今後の舞鶴医療センターの展望とともにお話をいただきま



した。今回のお話の中心は、脳卒中予防といかに2次予防（再発予防）を達成していくかということでした。「病気は夜につくられる」という言葉が印象的で、いかに普段の生活環境が大切であるか知ることができました。今後、医療人を目指す学生一同にとって非常に興味深い内容であり、学びを深めていくことができました。特に、発症時の対処や入院時の対応だけでなく、在宅に戻っていただけてからの2次予防も意識して患者さまに関わっていく必要があると、今後の看護観を考えさせられました。また、京都北部における脳卒中医療における舞鶴医療センターの重要性を再確認させていただけました。講演を聞かせていただいた後も、治療に関する質問や、学生がこれまで関わった患者さまとの比較など、積極的な意見交換も行われ、非常に実り多いものになりました。

☆ 3学年合同 実習発表会 ☆



～ 互いに刺激しあって ～

今年度も3学年合同看護の発表会を行いました。それぞれの学年が実習で学んできたことを発表し意見交換しました。各学年の発表テーマは次の通りです。

1年生：基礎看護学実習Ⅰより

☆「1つのニードから繋がる看護」

2年生：基礎看護学実習Ⅱより

☆「意欲を生かした援助から持てる力を引き出す」

～ お洒落好きな対象の整容動作と食事動作の結びつき ～

3年生：各看護学実習より

☆「授乳に不安のある初産婦への愛着形成に向けた看護」

～ ルービンの適応過程を用いて ～

☆「その人らしい人生の最期とは」

発表会を聞いての感想や意見を紹介したいと思います。

☆自分たちが、「こうしたらいいんではないか」という思いだけでなく、対象の発達段階やこれまでの人生背景を踏まえた上で、対象のニーズを考え、援助をしていくことが大切なんだと思いました。

☆当たり前の生活を送ることがこんなに素晴らしいことなんだ。と感ずることができました。

☆患者さまの心理をよみとり、意味のある「寄り添う」という看護の大きさ、大切さを学びました。

☆日常生活の中でも、リハビリになる動作があるという気づきがすごかったです。また、どこの筋肉が必要なのかなど、解剖や教科書に戻ることの重要性を学びました。

☆毎年のこの発表会がすごく楽しみで、今回の発表もすごくよかったです！後輩の発表を聞いて、改めて患者さまのニーズを知ることの大切さなどが分かりました。働き始めてからも、生かしたいですっ！！



3年生は後輩たちの発表を聴いて初心を思い返し、また2年生、1年生は先輩のすごさに感動と、これから自分達にできるのか心配な気持ちもありましたが、互いに良い刺激になりました。

☆離任式☆



平野学校長の退官をはじめ、常盤副学校長、新井教育主事、南江教員、住田教員、東野事務主任がそれぞれ転勤されます。異動を聞いた学生は涙を流し、これまでお世話になった感謝の気持ちを伝えていました。本当にありがとうございました。一生忘れません。またどこかでお会いする時があると思います。その時は思いっきり手をふり、遠慮なく声をかけますね。その時は宜しくお願いします。



☆終わりに☆

学校新聞「まいづる☆かん GO!!」も12号を迎えることができました。また、ホームページも昨年9月にリニューアルをし、毎月1000名以上の方に閲覧して頂いております。ほんと皆様に感謝！感謝！です。これからも私たちの学校生活を皆様に知って頂き、当校を知って頂きたいと思います。次回第13号では、新しく迎える新入生の紹介や看護の日、特別授業などについて掲載する予定です。楽しみにしててください。次号（第13号）は、6月下旬に発刊予定です。これからも宜しくお願い致します。

